

「進路」について考える第一歩

10月23日（木）に行われる上級学校訪問に向けて動き始めました。以下の目的をもって活動に取り組みます。

【目的】

- ・ 上級学校を訪問することで、上級学校に関する知識を深め、よりよい進路選択への意識を高める。
- ・ 名古屋市内で班別分散の経験を通して、修学旅行での班別分散研修に向けた経験を積む。

【行程】

午前 名古屋市内の私立高等学校・専修学校を訪問（班別活動）、昼食（各班で外食）

午後 名古屋市科学館

※各班で行程を組み、電車、地下鉄で移動します。

上級学校訪問は、「進路」について考える第一歩となります。「進路」と聞いてイメージしやすいのは、中学校卒業後の進学先を考え、そこに進むために必要なことに取り組むことだと思います。

それを含め、その先の自分の人生を考えていくことをまとめて「進路」と言っています。

今回の上級学校訪問は、「進路」を考える第一歩となります。上級学校についての情報を集めたり、公共交通機関を使ってさまざまな場所に行ったりする経験は、今後につながる大切なものだと考えます。

また、事前に計画は立てますが、当日は自分たちで判断しながら活動を進めていきます。これまでの半年度の学校生活で繰り返し伝えてきた「いつでも、どこでも、だれに対しても、正しく判断し、正しく行動できる」を意識し、行動できるかが試されます。そうした判断が自然とできれば、周りから信頼される集団となり、2年生や3年生で取り組むさまざまな行事の準備において、自分たちで考えながら取り組める幅が広がります。

皆さんの成長のきっかけとなる、中身の充実した行事にしていきたいと思います。



保護者の皆様へ 日頃から、学校・学年の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。まだまだ暑い日が続きますが、さまざまな行事に向けての準備が本格化していきます。充実したものになるよう、職員一同サポートしていきます。さまざまなお願いをすることがあるかと思いますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

上級学校訪問についてのお願い

○交通系 IC カード（マナカ等）の活用について

上級学校訪問では、移動のための交通費がかかります。可能な限り、マナカ等の交通系 IC カードをご準備ください。3年生になると、修学旅行班別学習、高校体験入学や入試等で活用が考えられます。この機会に準備することをお勧めします。

○昼食について

訪問先の上級学校周辺、または名古屋市科学館周辺にて各班で昼食をとります。予算は1,000円程度です。アレルギー等で心配な方は担任にご連絡ください。

★自宅学習を進めるためのポイント例★

- ◎ 学習計画を立て、家庭学習や自習を進めていく上で、ポイントとなりそうなものをまとめました。参考にしてください。最終的には、**自分で学習時間を作り出し、その中で、自分に合ったやり方を見つけて進めていくことが大切です**。また、機会を見つけて紹介をしたいと考えていますが、「自分の意志で取り組む」姿勢がないと成長につながりません。「自分から」を大事にしましょう。

① 勉強しているのにテストで点がとれない原因は、それが自分に合っていないから

- ・ 「覚えたら終わり」ではなく、「覚えた内容を忘れないようにする」に切り替えていく必要がある。
 - ・ 「成果がでない」人は基本的に、勉強して「知ったつもりになっている」人。
 - ・ 成果を出すには「知らない」⇒「知っている」⇒「理解している」「できる」の状態に順番にしていくなことが大事。「知っている」と「理解している」「できる」の差は大きい。
- ⇒ そのためには、学習を1回で終わらせるのではなく、何回も繰り返すことが大切。例えば、問題を解いて答え合わせをして○×を確認することは第1段階にすぎない。そこから繰り返すことが大事。

② まずはまねをするところから

- ・ 一から考えていくことは難しいので、本に書いてある内容、これまで紹介されたもの、うまくできている友達の方法などをまねることから進めていくとよい。
- ⇒ その中で、自分に合ったものを見つけ、それをアレンジしていくとより効果的になる。

③ 勉強計画は「時間」ではなく「量」で決める

- ・ 勉強した「時間」に加え、「何をどれだけやったか」が大事。時間の積み重ねも大切だが、ただ「今日は○時間勉強しよう」と設定しても、その中身がないと、効果が薄くなる。
- ⇒ 例えば「この時間は『使いこなす数学』の○ページから△ページに取り組む」という目標を立てて取り組む。この時に「30分で解き切る。やりきれなかった分は30分たったら答え合わせをする」などの、学習量と学習時間をセットにして設定するのはOK。

④ 勉強しない日を作らない

- ・ 1日でも家庭学習を1分もしない完全な学習オフ日をつくることはできるだけ避ける。5分でもよいので、毎日家庭学習時間を作る。「勉強できなかった」という罪悪感が軽減されたり、緊張の糸を切らずに済んだりできるため。そして、ほんの少しでも学習を進められたということを自信に変え、それを積み重ねることによりサイクルが生まれる。

⑤ 「目標は高く」よりも「絶対にやり切る！」と言える計画に

- ・ 目標の区切り方や勉強量は、自分のペースに合わせ、「絶対にやり切る」と言える「半歩先の目標」を設定する。その積み重ねが、「○○高校に合格する」などの大きな目標に到達することにつながる。

⑥ 計画は多少くずれても取り返せる余裕をもって立てる

- ・ 「自分で立てた計画はやり切るべき」だが、完ぺきな計画はあり得ない。計画は多少崩れるものだという前提で立て、土日祝日は平日でできなかった内容に取り組んだり、+αの内容に取り組んだりする調整日にするとよい。